

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 6 部門第 3 区分
 【発行日】平成 17 年 7 月 21 日 (2005.7.21)

【公開番号】特開 2003-233578 (P2003-233578A)

【公開日】平成 15 年 8 月 22 日 (2003.8.22)

【出願番号】特願 2002-32357 (P2002-32357)

【国際特許分類第 7 版】

G 0 6 F 13/14

G 0 6 F 3/06

G 0 6 F 13/38

H 0 4 N 5/907

【F I】

G 0 6 F 13/14 3 1 0 D

G 0 6 F 3/06 3 0 1 A

G 0 6 F 13/38 3 5 0

H 0 4 N 5/907 B

【手続補正書】

【提出日】平成 16 年 12 月 6 日 (2004.12.6)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】発明の名称

【補正方法】変更

【補正の内容】

【発明の名称】記憶装置及び制御方法

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

第 1 のポートを有する有線インターフェースと、
 第 2 のポートを有する無線インターフェースとを有し、
 前記第 1 のポートに接続された第 1 の外部装置がリムーバブルメディアにアクセスしている場合は、前記第 2 のポートをディセーブル状態にし、
 前記第 2 のポートに接続された第 2 の外部装置が前記リムーバブルメディアにアクセスしている場合は、前記第 1 のポートをディセーブル状態にすることを特徴とする記憶装置。

【請求項 2】

前記第 1 のポートが前記ディセーブル状態である場合、前記第 1 のポートは前記第 1 の外部装置と電氣的に接続できない状態であり、前記第 2 のポートが前記ディセーブル状態である場合、前記第 2 のポートは前記第 2 の外部装置と接続できない状態であることを特徴とする請求項 1 に記載の記憶装置。

【請求項 3】

前記有線インターフェースは、IEEE 1394 - 1995 規格、USB 1.1 規格又はそれらの拡張規格に準拠するものであることを特徴とするものであることを特徴とする請求項 1 又は 2 に記載の記憶装置。

【請求項 4】

前記無線インターフェースは、IEEE 802.11a規格、IEEE 802.11b規格、Bluetooth規格又はそれらの拡張規格に準拠するものであることを特徴とする請求項1から3の何れかに記載の記憶装置。

【請求項5】

前記記憶装置は、デジタルビデオカメラであることを特徴とする請求項1から4の何れかに記載の記憶装置。

【請求項6】

第1のポートを有する有線インターフェースと、
第2のポートを有する無線インターフェースとを有する記憶装置の制御方法であって、
前記第1のポートに接続された第1の外部装置がリムーバブルメディアにアクセスしている場合は、前記第2のポートをディセーブル状態にし、

前記第2のポートに接続された第2の外部装置が前記リムーバブルメディアにアクセスしている場合は、前記第1のポートをディセーブル状態にすることを特徴とする制御方法。

【請求項7】

前記第1のポートが前記ディセーブル状態である場合、前記第1のポートは前記第1の外部装置と電氣的に接続できない状態であり、前記第2のポートが前記ディセーブル状態である場合、前記第2のポートは前記第2の外部装置と接続できない状態であることを特徴とする請求項6に記載の制御方法。

【請求項8】

前記有線インターフェースは、IEEE 1394-1995規格、USB 1.1規格又はそれらの拡張規格に準拠するものであることを特徴とするものであることを特徴とする請求項6又は7に記載の制御方法。

【請求項9】

前記無線インターフェースは、IEEE 802.11a規格、IEEE 802.11b規格、Bluetooth規格又はそれらの拡張規格に準拠するものであることを特徴とする請求項6から8の何れかに記載の制御方法。

【請求項10】

前記記憶装置は、デジタルビデオカメラであることを特徴とする請求項6から9の何れかに記載の制御方法。

【請求項11】

第1のポートを有する有線インターフェースと、
第2のポートを有する無線インターフェースとを有し、
前記有線インターフェースが所定のコマンドを受信した場合は、前記第2のポートをディセーブル状態にし、

前記無線インターフェースが所定のコマンドを受信した場合は、前記第1のポートをディセーブル状態にすることを特徴とする記憶装置。

【請求項12】

前記第1のポートが前記ディセーブル状態である場合、前記第1のポートは前記第1の外部装置と電氣的に接続できない状態であり、前記第2のポートが前記ディセーブル状態である場合、前記第2のポートは前記第2の外部装置と接続できない状態であることを特徴とする請求項11に記載の記憶装置。

【請求項13】

前記有線インターフェースは、IEEE 1394-1995規格、USB 1.1規格又はそれら拡張規格に準拠するものであることを特徴とするものであることを特徴とする請求項11又は12に記載の記憶装置。

【請求項14】

前記無線インターフェースは、IEEE 802.11a規格、IEEE 802.11b規格、Bluetooth規格又はそれらの拡張規格に準拠するものであることを特徴とする請求項11から13の何れかに記載の記憶装置。

【請求項 15】

前記記憶装置は、デジタルビデオカメラであることを特徴とする請求項 11 から 14 の何れかに記載の記憶装置。

【請求項 16】

第 1 のポートを有する有線インターフェースと、

第 2 のポートを有する無線インターフェースとを有する記憶装置の制御方法であって、

前記有線インターフェースが所定のコマンドを受信した場合は、前記第 2 のポートをディセーブル状態にし、

前記無線インターフェースが所定のコマンドを受信した場合は、前記第 1 のポートをディセーブル状態にすることを特徴とする制御方法。

【請求項 17】

前記第 1 のポートが前記ディセーブル状態である場合、前記第 1 のポートは前記第 1 の外部装置と電氣的に接続できない状態であり、前記第 2 のポートが前記ディセーブル状態である場合、前記第 2 のポートは前記第 2 の外部装置と接続できない状態であることを特徴とする請求項 16 に記載の制御方法。

【請求項 18】

前記有線インターフェースは、IEEE 1394 - 1995 規格、USB 1.1 規格又はそれら拡張規格に準拠するものであることを特徴とするものであることを特徴とする請求項 16 又は 17 に記載の制御方法。

【請求項 19】

前記無線インターフェースは、IEEE 802.11a 規格、IEEE 802.11b 規格、Bluetooth 規格又はそれらの拡張規格に準拠するものであることを特徴とする請求項 16 から 18 の何れかに記載の制御方法。

【請求項 20】

前記記憶装置は、デジタルビデオカメラであることを特徴とする請求項 16 から 19 の何れかに記載の制御方法。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0006

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0006】

本発明の制御方法の一つは、第 1 のポートを有する有線インターフェースと、第 2 のポートを有する無線インターフェースとを有する記憶装置の制御方法であって、前記第 1 のポートに接続された第 1 の外部装置がリムーバブルメディアにアクセスしている場合は、前記第 2 のポートをディセーブル状態にし、前記第 2 のポートに接続された第 2 の外部装置が前記リムーバブルメディアにアクセスしている場合は、前記第 1 のポートをディセーブル状態にすることを特徴とする。

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0008

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0008】

本発明の制御方法の一つは、第 1 のポートを有する有線インターフェースと、第 2 のポートを有する無線インターフェースとを有する記憶装置の制御方法であって、前記有線インターフェースが所定のコマンドを受信した場合は、前記第 2 のポートをディセーブル状態にし、前記無線インターフェースが所定のコマンドを受信した場合は、前記第 1 のポートをディセーブル状態にすることを特徴とする。